

[イマズスルフロン・ピラクロニル・
ベンゾビシクロン粒剤]

農林水産省登録 第 2 2 5 0 0 号

性 状：類白色細粒

毒 性：普通物

危 険 物：—

有効年限：5 年

包 装：1 kg×12 袋、4 kg×4 袋、10 kg×1 袋

忍® 1 キ ロ 粒 剤

有効成分：イマズスルフロン …………… 0.90% ピラクロニル …………… 2.0%
ベンゾビシクロン …………… 2.0%



こちらのバーコードをスマートフォン等で読み取るとi-農力サイトに掲載されている本剤の新しい情報をご覧になれます。また、詳しい読み取り方・最新情報については11頁をご覧ください。

〔適用と使用方法〕

作物名	適用雑草名	使用時期*	10アール 当り使用量	総使用回数*	使用方法
移植水稲	一年生雑草 及び 多年生広葉雑草 エゾノサヤヌカグサ アオミドロ・藻類による 表層はく離	移植時	1 kg	本 剤：1回 イマズスルフロン：2回 ピラクロニル：2回 ベンゾビシクロン：3回	田植同時散布 機で施用
		移植直後～ ノビエ2.5葉期 ただし、移植後 30日まで			
直播水稲	一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ヘラオモダカ ウリカワ ミズガヤツリ ヒルムシロ セリ	稲1葉期～ ノビエ2.5葉期 ただし、 収穫90日前 まで			湛水散布 又は 無人航空機 による散布

⚠ 効果・薬害等の注意

●主要雑草に対する散布適期幅

ホタルイ	2葉期まで	コウキヤガラ	発生始期まで
ウリカワ	2葉期まで	シズイ	草丈3cmまで
ヘラオモダカ	2葉期まで	アオミドロ・藻類	発生前まで
ミズガヤツリ	2葉期まで	による表層はく離	
エゾノサヤヌカグサ	2葉期まで		
ヒルムシロ	発生期まで		
セリ	再生前から再生始期まで		
オモダカ	発生始期まで		
クログワイ	発生始期まで		

○本剤は雑草の発生前から生育初期に有効なので、ノビエの2.5葉期までに時期を失ないように使用する。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にふれが出るので、必ず適期に使用するよう注意する。

- 散布の際は、水の出入りを止めて湛水状態（水深3～5cm）で、まきむらが生じないように均一に散布する。また、極端な浅水や深水での使用はさける。
- 散布後3～4日間はそのまま湛水を保ち、田面を露出させないようにし、散布後7日間は落水、かけ流しはしない。また、入水は静かにおこなう。
- 浅植え、浮き苗が生じないように、代かき、均平化及び植付作業はていねいにおこなう。未熟有機物を施用した場合は、特にていねいにおこなう。
- 本剤を無人航空機による散布に使用する場合は、次の注意を守る。

- 散布は散布機種種の散布基準に従って実施する。
- 専用の粒剤散布装置によって湛水散布する。
- 事前に薬剤の物理性に合わせて粒剤散布装置のメタリング開度を調整する。
- 散布薬剤の飛散によって他の植物に影響を与えないよう散布区域の選定に注意し、当該水田周辺部への飛散防止のため散布装置のインペラの回転数を調整し、ほ場の端から5 m離れた位置からほ場内に散布する。
- 水源池、飲料用水等に本剤が飛散、流入しないように十分注意する。
- 直播水稲で使用する場合、稲の根が露出する条件では葉害を生じるおそれがあるので注意する。
- 以下のような条件下では葉害が発生するおそれがあるので使用をさける。
 - 砂質土壌の水田及び漏水の大きな水田（減水深が2 cm/日以上）。
 - 軟弱な苗を移植した水田。
 - 極端な浅植えの水田。
- 著しい多雨条件では除草効果が低下する場合がありますので使用はさしひかえる。
- 散布田の田面水を他の作物に灌水しない。
- 本剤はその殺草特性から、いぐさ、れんこん、せり、くわいなどの生育を阻害するおそれがあるので、これら作物の生育期に隣接田で使用する場合には十分に注意する。
- いぐさ栽培予定水田では使用しない。
- 本剤は移植前に生育したミズガヤツリには効果が劣るので、物理的防除方法などを用いて移植前に防除してから使用する。
- オモダカ、クログワイ、コウキヤガラ、シズイは発生期間が長く、遅い発生のもものでは十分な効果を示さない場合がありますので、必要に応じて有効な後処理剤と組み合わせて使用する。
- 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合や異常気象の場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。



安全使用上の注意



- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにする。
- 本剤は眼に対して軽度の刺激性があるので眼に入らないよう注意する。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受ける。
- 水産動植物（藻類）に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用する。
- 無人航空機による散布で使用する場合は、飛散しないよう特に注意する。
- 散布後は水管理に注意する。
- 散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さない。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理する。
- 直射日光をさけ、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管する。

〔品目特性〕

- 田植同時散布が可能です。
- SU抵抗性雑草に高い効果を示します。
- ノビエから多年生カヤツリグサ科雑草まで幅広く効きます。